

**軽くて柔らかい安心素材で、周囲への迷惑や子どもの怪我を心配せず遊べる  
ドイツ・ポリー社の「ソフトソーサー」 売上前年対比 141%と好調  
投げる、握るなどの多様な運動にも！ 持ち運びも楽々で、春のお出かけにおすすめ**

子どもの健やかな成長に「あそび」を通して貢献することを目指し、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーンエルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、ポリー社(ドイツ)の当たっても痛くない素材で作られたフライングディスク「ソフトソーサー」の売上が、前年対比 141%と好調に推移していることをご報告いたします。

本商品は 1993 年の発売以来、子どもが運動への苦手意識を持つことなく楽しみながら体の発達を促す、安全に思い切り遊べるといった理由から、教育現場や一般家庭で親しまれています。また、2017 年 8 月に行われた「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト(以下、ABU ロボコン 2017)」の競技の中で使用されたことで注目が高まり、売上好調の一因となりました。

#### 売上好調の理由

##### ① 子どもが苦手意識を持つことなく、発達につながる体あそびができる。

近年、子どもの体力は上昇傾向にあると言われてはいますが、握力とボール投げの能力は低水準での推移が続いています<sup>※</sup>。これは公園でボール遊びが禁止されるなど、投てきの機会が減少していることによるものと当社は考えます。また、痛い思いをした経験から、ボール遊びや投てきを苦手に感じる子どももいます。



この「ソフトソーサー」は、スポンジ製の軽くて柔らかい素材で、当たっても痛くありません。このため、ソーサーを受け止める際の子どもの恐怖心を和らげることができます。加えて、安全であそぶ場所を選ばないため、手軽に握力や投げる力を育むことができます。

<sup>※</sup>2018年2月13日 スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」次ページのグラフご参照

##### ② 外あそびの環境が変化する中で、周囲に対する親の心配事を解決する。

当社の調査では、公園で遊ぶことが子どもの成長にとって大事だと考える親は 93.7%<sup>※</sup>におよびますが、近年公園では安全管理の問題や近隣トラブルの種になることから、あそびに制限がかけられ、外で子どもを思い切り遊ばせることが困難になっています。



本商品は、軽くて柔らかい素材なので、屋外で人に当たって怪我をさせる、物を壊すといった心配がなく思い切り遊べます。

<sup>※</sup>2017年4月 ボーンエルンド実施「昔と今の公園に関する意識調査」次ページのグラフご参照

##### ③ 2017年に「ABU ロボコン 2017」の競技に用いられ、注目が高まった。

「ABU ロボコン 2017」とは、大学生がロボットを製作して、その性能や操作技術を指定の競技で披露しスコアを競う大会です。これに本商品が用いられたことにより、教育現場や一般家庭でのあそび道具として親しまれていたところから幅を広げ、大学生や子どもを持っていない大人の方にも知っていただく機会となり、前年の売上を大きく上回る結果となりました。

## ボリー社の商品ラインナップ



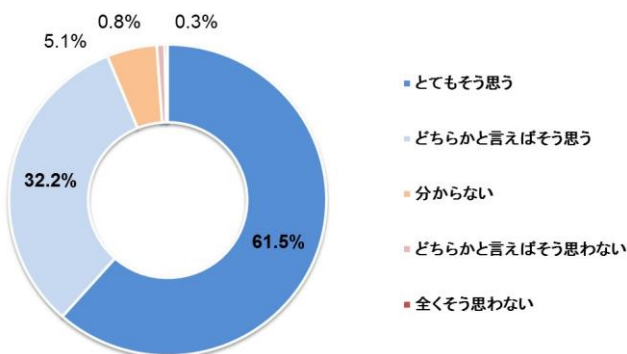
■ソフトソーサー  
 メーカー：ボリー社(ドイツ) 原産国：ドイツ  
 価格：1,700+税 サイズ：直径 25cm  
 重さ：約 38g 材質：ポリウレタン



■しわくちゃボール  
 メーカー：ボリー社(ドイツ) 原産国：ドイツ  
 価格：750~2,800+税 サイズ：7~15cm  
 重さ：約 14~65g 材質：ポリウレタン

## ご参照資料

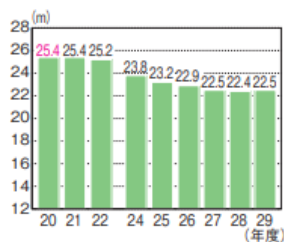
Q. あなたは公園で遊ぶことは、子どもの成長にとって大事だと思いますか。



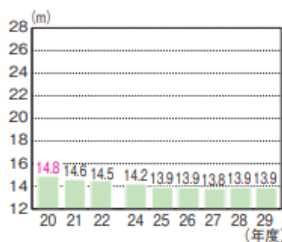
※2017年4月 ボーネルンド「昔と今の公園に関する意識調査」

## ソフトボール投げ

●男子



●女子



※2018年2月13日 スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

## 【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国82ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国22ヶ所、約年間277万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国約30ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報室

担当：金山、村上

TEL: 03-5785-0860

e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンランド

TEL: 0120-358-518(月~金 10:00~17:00)